

Manabin

FREE

2019
2月号
まな便

manami♥ru [まなみーる岩見沢市民会館・文化センター広報誌]

MACHI no KIOKU LIVE

マチの記憶ライブ

＜今月の特集＞

マチの記憶ライブⅧ 出演者インタビュー

連載/交響詩岩見沢と私

北村 栗沢 岩見沢地区芸術観賞会

「電気信号の音楽とダンス」

INTERVIEW

うたうたい「吉井俊明」

■ 本日は吉井さんのアレコレをお聞きたいと思いますので宜しくお願いします！

こちらこそ！お手柔らかにお願いします。

■ さて、吉井さんとは長らく音楽関係でお付き合いさせてもらっていますが、生い立ちをお聞きたことがありませんでした。どんな少年だったんでしょうか？

6歳から札幌の盲学校に入って24歳くらいまで居たかな。基本的には寮生活。先輩後輩の上下関係がすごく厳しい学校でね、社会に出るための勉強をさせてもらったよ。とにかく勉強・スポーツが不得手でさ、寮の先生に「アンタほんと何やらせても出来ないね」ってずっと言われ続けてた。でも、音楽はちっちゃい時から好きだったんだよね。祖母が童謡唱歌とか民謡とかを一生懸命俺に教えていたようで、ラジオから流れてくる流行歌なんかを人前で歌ってたそうなの。4歳くらいの話だからほとんど憶えてないんだけど、幼少期のそういう体験があったから、音楽に対する苦手意識が無かったのかもしれないね。

■ やはり家族の影響なんですね？どんな曲を歌ってたか憶えていますか？

父曰く「お前は村田英雄の王将をずっと歌ってた」と(笑)

■ 村田英雄ですか！(笑)シブいですね～。やはり将棋の駒を握りしめて？

そうそう(笑) 盆・正月に集まりがあると親戚のおじいちゃんから何回もリクエストされては嫌がらずに歌ってたみたい。それで、6歳の頃には我が家にもテレビがやってきたんだけど、自分は相変わらずラジオから流れてくる音楽が好きで、従姉妹たちと「上を向いて歩こう」や「スーダラ節」を歌ったり、気がつけば外国のPOPSのノリにはまったり、そんなことをかすかに憶えているね。小学4年くらいになると、ラジオの音楽番組のチャートを点字でつけるようになったんだけど、「俺だったらこういう順位にするのに」とかブツブツ言って、勝手に自分のベストテンとか作ってたよ(笑)

■ 小4でベストテンのチャート付けるって相当マニアックですけど(笑) そういえば、楽器を手にしたのはいつぐらいからですか？

中学に進学したとき、盲学校の先輩たちがバンドをやっているのを見て「俺もバンドをやりたい」「スポットを当てられたい」って心底憧れたの。学校祭のリハーサルで歌う機会をもらったんだけど、「ダメ、お前は変声期前だから本番では歌えないよ」って言われたのが凄く悔しくてね。どうすれば舞台上に立てるか考えた時、その頃流れていたフォークソングを思い出したんだ。両親にねだって中1の秋にガットギターを買ってもらったんだけど、始めたころは挫折の日々でさ、父から「弾けると思って買ってやったのに弾けないのか」とか挑発されるのね。そのたびに悔しくて練習したり、同期のバンドマンからコードの押さえ方を教えてもらったりね。初めて教えてくれたコードが「Am」だったのよ。あの暗～い感じ。他にも教えてもらおうと思ったんだけど「あとは自分で覚えろ」って。

■ 普通、「C」とか「E」から教えろよってツッコミを入れたくなりますね(笑)

そうだよな(笑) その後は自分で必死でコード探ったもんだよ。それで、高校に進学した頃、当時はグループサウンズが流行ってたから「若者の音楽＝バンド」って感じだったんだけど、依然として俺はバンドを組めずにいて、一人でフォーク音楽祭に出たり、大通り公園に行って弾き語りの練習したりしてたんだよね。

マチの記憶ライブⅧ
MACHI no KIOKU LIVE

出演：minori、hopesign、吉井 俊明



聞き手 まな便編集部 竹内 恭平

■ 高校卒業後はどんな道のりだったんでしょうか？

指圧マッサージの免許を取ったあと、厚別の治療院で3年間修業をさせてもらったんだ。その頃めっきり音楽活動から離れてたんだけど、好きなレコードは集めて聴いていたよね。それで、岩見沢で開業した当時、通ってたレコード屋の常連仲間と意気投合し「バンドやろうぜ」って話になったんだ。ここでようやく学生の頃から憧れ続けたバンドを始めることができたの。それから、音楽を通して色んな人に出会ったり、色んなバンドで歌わせてもらったり、時にはギター1本・ピンで歌うことも少なく無いけど、今でも初代のメンバーと親交があるんだ。バンド始めたのが1986年だから、もう30年以上になるよね。

■ 30年以上の付き合いって凄いですね。長らくこのマチで音楽を続けている吉井さんにとって、この岩見沢はどのような印象なんでしょうか？

市外の人から「岩見沢ってどんなマチ？」って聴かれたら、俺は真っ先に「人は良いよ」って答えると思う。「何も無いマチ」って揶揄する人もいるけど、そんなことは無いよね。なぜなら、こんなハンディを背負った俺でもマチのみんなは温かく迎え入れてくれるし、近所の人たちも分け隔てなく接してくれたんだよね。

■ いいお話ですね。吉井さんのお人柄にもよるところだと思いますが、親しい人が多いのは岩見沢の良いところですよ！ さて、最後となりました。マチの記憶ライブⅧの意気込みとお客様へのメッセージをお聞かせ願えますか？

まなみーるの大きな舞台上で歌えることにワクワクしているし、一緒に共演するhopesign君やminoriちゃんは若くてとっても良い歌をうたうミュージシャンなんだ。本当に楽しみにしています。俺は昭和の懐かしい曲を中心に、皆さんに楽しんでいただけるステージにしたいと思ってます。ぜひ2/24(日)はまなみーるに遊びにいらして下さい。宜しくお願いします。

■ 今日吉井俊明さんにお話を伺いました。ありがとうございました！

こちらこそ、ありがとうございました！

Toshiaki YOSHII 吉井 俊明

1956年岩見沢市生まれ。中学生の頃フォークソングにはまり、アコースティックギターやブルースハープを始める。以来、50年にわたり岩見沢で歌い続ける。60年代以降のフォークソング、歌謡曲、ブルース、グループサウンズ、オールディーズポップスなどを得意とし、近年ではハラペーニョス、吉田町、Sixty'sなど多方面でバンド活動を行うほか、オリジナルソングの制作にも注力している。

2019. 2.24 sun
13:30 開場／ 14:00 開演

会場 まなみーる岩見沢市文化センター中ホール

お問合せ (はまなすアート) 0126-22-4235

入場無料 | 要整理券 |

無料整理券取扱所

はまなすアート(まなみーる内)	0126-22-4235
コロナのテラス	0126-23-0113
北海道教育楽器	0126-22-6220
ホテルサンプラザ	0126-23-7788
岩見沢市観光協会	0126-22-3470

「交響詩岩見沢と私」

第1回 倉持 静香

Symphonic poem
iwamizawa

交響詩岩見沢を知ったのは光陵中学校に在学していた時のこと、音楽のテストに作詩・作曲者や歌詞の一部が出題されたりしていました。また、同級生に作詩者・加藤愛夫さんの親戚がいたこともあり、話題になっていたのを憶えています。合唱部に入部した私は、岩見沢の合唱団が一同に集まる「合唱のつどい」で初めてこの楽曲に出逢いました。最初は何気なく歌っていましたが、混声4部合唱の旋律やピアノ伴奏の美しさに引き込まれ、大好きな曲のひとつになっていました。また、光陵中の卒業式では第三章「北国の象徴」を大合唱する取り組みがありました。当時の全校生徒は1,000名近くいたため、その迫力は凄まじいものです。中三の卒業式では合唱部部長として全校生徒の前で指揮をしたことがとても懐かしく思い出されます。

中学を卒業してから歌う機会はなくなり、寂しく思っていました。平成5年10月10日に行われた岩見沢市開基110年市制施行50周年記念事業では、交響詩岩見沢大合唱に一般市民から参加しました。恩師である光陵中合唱部顧問の斉藤正純先生と再会できたことも思い出のひとつです。



そして、平成25年には岩見沢大合唱団『結』の団員募集があり、迷うことなく応募しました。もともとアルトパートだった私は何年ものブランクがありましたが、この曲のアルトの音域がとても気持ち良く、楽しく練習を重ね本番に立つことができました。そして最終公演のキタオンでは、ステージから見える景色と札幌交響楽団との共演が思い出に残ります。

時を経て、娘も光陵中の卒業式で交響詩岩見沢を合唱しました。その姿に自分を重ね合わせると何だか感慨深いものです。思い出がいっぱい詰まった交響詩岩見沢、この詩の意味を知ると幾つもの情景が映し出され、ふるさとの歴史のすべてを語ることができます。今年6月の演奏会をもって「交響詩岩見沢の会」が解散すると聞き寂しさを覚えますが、またいつか歌える日があることを願いながら今回のステージを楽しみたいと思います。

参加
無料

交響詩岩見沢の会ファイナルステージと

「交響詩岩見沢」よ永遠に
合唱団参加団員募集

募集〆切

2月24日(日)必着

※まなみーる窓口設置の応募用紙にてお申込み下さい。

説明会

2019年2月27日(水) 18:00 まなみーる音楽室

練習

3月13日(水)～6月18日(火) 計8回

本公演

2019年6月23日(日) まなみーる大ホール

全公演入場無料

公演内容

これまでに栗沢地区芸術観賞会「無数の弦の音楽とダンス」(2017年)、「春と修羅」(2018年)【はまなすアート主催】の企画制作を行った 吉武裕二が本公演をプロデュース、今回は北村・栗沢・岩見沢の3箇所で公演を行う。またKim yooiとして音楽を担当する。ダンサーは札幌市を拠点に国内外問わず幅広い活動を行う鈴木明倫、浜田純平、加藤正汰郎が出演。そしてVJ(ヴィジュアル・ジョッキー)として、札幌市在住のクリエイターかとうたつひこによるオイルや絵の具などを使う幻想的なリキッドライティング映像で空間を演出。音楽・ダンス・映像による約1時間の空間体験型の公演。

2019.3.10 (SUN)

OPEN 13:30 / START 14:00

北村公演 - NOISE -

会場 岩見沢市北村環境改善センター 多目的ホール(岩見沢市北村赤川595番地4)

2019.3.17 (SUN)

OPEN 13:30 / START 14:00

栗沢公演 - SILENCE -

会場 北海道社会福祉事業団 福祉村 体育館(岩見沢市栗沢町最上350番地1)

2019.3.24 (SUN)

OPEN 13:30 / START 14:00

岩見沢公演 - AMBIVALENCE -

会場 まなみーる岩見沢市民会館・文化センター 大ホール(岩見沢市9条西4丁目1番地1)

【主催】NPO法人はまなすアート&ミュージック・プロダクション

【後援】岩見沢市、岩見沢市教育委員会

【舞台・音響】AIR SO・AQ 【照明】祇王舎

お問合せ 0126-22-4235(はまなすアート)

Produce : 吉武裕二(HamanasuArt) | Music : Kim yooi | Dance : 鈴木明倫/浜田純平/加藤正汰郎 | VJ : かとうたつひこ

	行 事 名	開場・開演-終演	会 場	入 場 料	主 催 者 ・ 問 合 せ 先
3日(日)	岩見沢小学校 第32回合唱部発表会	13:00・13:30 - 15:00	中ホール	入場無料	0126-22-0256 岩見沢小学校 箕田
7日(木)-11日(月)	北海道教育大学岩見沢校 美術文化専攻 修了・卒業制作展	9:00 - 22:00	ロビー & 展示室	入場無料	0126-32-0310 教育大学岩見沢校 広報地域連携グループ
16日(土)	第21回 よいこのくに幼稚園 おんがくかい	9:10・10:00 - 12:00	大ホール	入場無料	0126-22-1905 よいこのくに幼稚園 渡辺
17日(日)	瀬尾ピアノ教室 発表会	13:30・14:00 - 16:00	中ホール	入場無料	090-7518-2837 瀬尾
22日(金)	第50回 北教組空知支部 岩見沢支会年次大会	17:00 - 19:30	中ホール	入場無料	0126-22-1691 前田
22日(金)-24日(日)	北海道岩見沢緑陵高等学校 美術部 第7回校外展	22・23日 10:00 - 18:00 24日 10:00 - 17:00	展示室	入場無料	0126-22-1851 棚田
24日(日)	マチの記憶ライブⅧ	13:30・14:00～	中ホール	入場無料 要・入場整理券 窓口取扱	0126-22-4235 はまなすアート
28日(木)	まなロビ vol.48	18:00 - 19:00	ロビー	入場無料	0126-22-4235 はまなすアート

まなロビ再始動！今回はピアニスト 3名による共演です。
「タイムスリップツアー」をテーマに、様々な時代の曲をたっぷりと演奏します。ぜひ皆様のご来場をお待申し上げます！
出演：平田朱音、菅原奈々、藤内海登（いずれも北海道教育大学岩見沢校 音楽文化専攻 鍵盤楽器コース2年）



編集後記

2月22日は「ねこの日」

まなみーるスタッフには猫好きが多く、3家庭で合計8匹！（うち5匹は谷山副館長宅）休憩時間に猫の話で盛り上がったり、写真や動画を見せ合ったりして楽しんでいます！そんな可愛い猫たちを紹介します♪

谷山家



みかん♀ チョコ♂ ソラ♂ ココ♀ サクラ♀

小澤家



かつお♂ ろく♂

佐々木家



セブ♂

「まな便」とは

音楽、芸術、アート、まなみーるでのイベントなどをお客様に届けたい。そんな思いを込め、まなみーる便、略して「まな便」と名づけました。毎月、様々な情報をお届けいたします。

Manabin

【お問い合わせ先】



HAMANASU ART

発行元／まなみーる岩見沢市民会館・文化センター指定管理
NPO 法人はまなすアート & ミュージック・プロダクション

まなみーる岩見沢市民会館・文化センター

〒068-0029 北海道岩見沢市9条西4丁目1 TEL 0126-22-4233／FAX 011-351-2556

開館時間 午前9時～午後10時 ／ 休館日 年末年始（12月29日～1月3日）



PC サイト www.manamiru.jp

スマホサイトはこちら <http://www.manamiru.jp/sp/>

バス 駅前バスターミナルから中央バスで高速岩見沢号、かえて団地循環線、南町・春日循環線、万字線、幌向線「市民会館前」下車 徒歩1分
JR函館本線 岩見沢駅下車 徒歩 約10分

